

1. 総論

【総括判断】「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	→

（注）令和3年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、スーパーが堅調であるほか、家電大型専門店等が順調となっているものの、観光等が低調であることから、全体としては感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、食料品が横ばいの状況にあるものの、電気機械で持ち直しつつあり、汎用・生産用機械で緩やかに持ち直しつつあることから、全体としては緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
個人消費	感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている	→
生産活動	下げ止まっている	緩やかに持ち直しつつある	→
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きとなっている	感染症の影響により、弱い動きとなっている	→
設備投資	2年度は前年度を下回る見込み	2年度は前年度を下回る見込み	→
企業収益	2年度は減益見込み	2年度は減益見込み	→
企業の景況感	現状判断は「上昇」超	現状判断は「下降」超	→
住宅建設	前年を上回っている	前年並みとなっている	→
公共事業	前年度並みとなっている	前年度を下回っている	→

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染拡大による社会経済活動への影響が地域経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている」

スーパーは、衣料品や身の回り品が弱い動きとなっているものの、飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている。コンビニエンスストアは、デザートや冷凍食品等に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。ドラッグストアは、新規出店効果に加え、マスク等の衛生用品や飲食料品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。家電大型専門店は、テレビや冷蔵庫等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。ホームセンターは、園芸用品やマスク等の衛生用品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。百貨店は、身の回り品等に動きがみられるものの、衣料品や飲食料品が低調であるなど、全体としては横ばいとなっている。乗用車販売は、小型車で前年を下回っているものの、普通車、軽乗用車で前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。観光は、感染者数の増加に伴い、外出を控える動きが広がっており、低調となっている。旅行は、国内旅行は低調となっており、海外旅行は不調となっている。

(主なヒアリング結果)

- 外出機会の減少の影響が続いており、衣料品については依然として動きが弱い。外食を控えて家庭内での食事を志向する傾向は続いていることから、食料品については生鮮食品等を中心に引き続きよく動いている。(スーパー)
- 感染症の影響によるイエナカ需要の高まりで、テレビを中心に買い替えがみられる。(家電大型専門店)
- 感染拡大により、消費者の自粛ムードは非常に高いように感じる。足下では、行政から時短要請がなされていることもあり、感染症が発生して以降最も厳しい状況となっている。(飲食店)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

食料品は、業務用で弱さがみられるものの、家庭用で動きがみられており、横ばいの状況にある。電気機械は、電子部品に動きがみられることから、持ち直しつつある。汎用・生産用機械は、厳しい状況にあるものの、建設工事向けに動きがみられることから、緩やかに持ち直しつつある。こうしたことから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

- 感染症の影響による外出自粛などから、外食向けが良くない。一方で、自宅での食事機会が増加していることから、小売店向けが良い。全体としては高い操業を維持している。(食料品)
- スマートフォン向け電子部品の受注が増加しており、操業は高くなっている。(電気機械)
- 感染症の影響により減少していた建設工事向けの需要に持ち直しの動きがみられ、生産量は増加している。(汎用・生産用機械)

■ 雇用情勢 「感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は、緩やかに上昇している。新規求人数は、前年を下回っている。従業員数判断BSIをみると、3月末は、全産業で1.5%ポイントと「不足気味」超幅が縮小している。

- 造船業の低迷により、大手造船会社の協力企業を中心に、新規求人数が減少した。また、ガス販売業や鮮魚卸売業において、飲食店不振の影響で業績が悪化し、新規求人数が減少した。(労働局)
- 感染症の影響により、イベント等の自粛があり、受注が減少している。例年であれば人手は不足しているところ、人手過剰のため、雇用調整助成金を活用している。(製造業)
- G o T oトラベル事業の停止を受けて宿泊客が激減したため、人手は過剰気味となっている。(宿泊業)

- **設備投資** 「2年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期
 - 全産業で15.2%の減少見込みとなっている。
 - これを業種別にみると、製造業で11.3%、非製造業で23.2%の減少見込みとなっている。
- **企業収益** 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期
 - 全産業で18.7%の減益見込みとなっている。
 - これを業種別にみると、製造業で20.3%、非製造業で13.3%の減益見込みとなっている。
- **住宅建設** 「前年並みとなっている」
 - 新設住宅着工戸数でみると、全体としては前年並みとなっている。
 - 利用関係別にみると、給与住宅及び分譲で前年を上回っているほか、持家で前年並みとなっているものの、貸家で前年を下回っている。
- **公共事業** 「前年度を下回っている」
 - 前払金保証請負金額(令和2年度3月累計額)でみると、管内合計は前年度を下回っている。
 - 発注者別にみると、国及び独立行政法人等において前年度を上回っているものの、県及び市町村において前年度を下回っている。

3. 各県の総括判断

	前回(3年1月判断)	今回(3年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
香川県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
徳島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるなど、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるなど、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
愛媛県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
高知県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。